

広 報 こ う さ

【Camera Sketch】ハロー Baby !

甲佐中学校生徒の子育て体験

CONTENTS

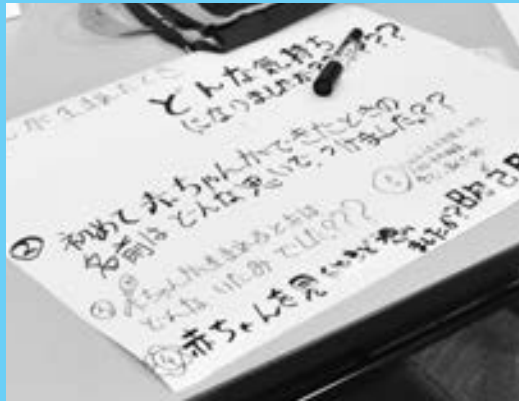
- 05・特集 体験豊かな「こうさっ子」の夏休み
- 06・こうさの話題 集落営農の講演会を開催
- 09・町からのお知らせ 65~75歳の障がい認定された人へのお知らせ
- 10・私のおすすめ図書 川口 大地くん(緑町区)
- 20・Kosa Style ALT・トッド・ハーグレーブさん(仁田子区)

No.530

September 2013

9

甲佐中生徒の 子育て体験 「ハロー Baby!」



●甲佐中生徒を対象に開催した子育て体験「ハローBaby!」●(右ページ)妊婦体験シミュレーターや赤ちゃんの人形を使って、子育てについて体験学習●(左ページ)10か月児教室に参加した赤ちゃんやお母さん・お父さんと交流する中学生たち。実際に赤ちゃんに触れ合い、抱っこや着替え、おむつ交換などにも挑戦



保護者の疑似体験で
子育ての苦労などを体感

8月2日(金)町総合保健福祉センターで、中学生の子育て体験「ハローBaby!」が開催されました。

思春期の子どもたちが、妊婦の疑似体験や赤ちゃんとの触れ合いを通して、親子の愛情、子育ての楽しさや苦労、命の尊さなどについて考える体験教室で、町総合保健福祉センターが主催。

夏休みを利用して開催され、甲佐中学校(作田潤一校長266人)の生徒29人が参加。体験教室では、赤ちゃんを持つ保護者の疑似体験、10か月児教室に訪れた赤ちゃんとの触れ合いとお母さん・お父さんたちとの交流、乳児の抱っこ体験を行いました。

7kgの重りをお腹に着用して妊婦の大変さを実感

実際に赤ちゃんに触れ合う前に、妊婦の疑似体験を受講。保健師の指導の下で、妊娠7〜8か月の妊婦の体験を実習しました。

約7kgの重さがある妊婦体験シミュレーターを装着した状態で、歩く動作や床に置いた本を取る動作、大きなお腹を抱えて寝たり、起き上がったたりする動作などを体験。体を



自由に動かせない妊婦の大変さを実感しました。

赤ちゃんとの触れ合いを通して感じる命の温かさ

妊婦の疑似体験の後、中学生たちは同日に開催していた10か月児教室に合流して、実際に赤ちゃんに触れ合って子育てを体験しました。

赤ちゃんとお母さん・お父さんなどと対面し、赤ちゃんの身体計測を手伝い、着替えやおむつ交換を実際に体験。赤ちゃんたちが自由に動き回ったり、大声で泣き出したりして、子育て体験は四苦八苦。抱っこしたり、おもちゃであやしたりして、優しく触れ合うことで少しずつ慣れて、笑顔で接することができるようになりました。

また、子育ての苦労や赤ちゃんの名前の由来など、事前に考えた保護者への質問を発表。保護者は、中学生の疑問に丁寧に答えました。

10か月児教室の終了後は、首が据わっていない赤ちゃんの人形を抱っこして、赤ちゃんがどれほど小さくて、弱い体であるかを実感。最後に、交流した赤ちゃんの保護者に向けて感謝のメッセージを書きました。

参加した中学生は「これからは、妊婦さんや子育て中の人への心遣いをしていきたい」と話しました。

中学生までのお子さんがいるご家庭の皆さんへ

子ども医療費助成制度と受診の際にご留意いただきたいこと

■子ども医療費助成制度とは

子ども医療費助成制度とは、お子さんの疾病の早期治療を促進し、健康の保持および健全な育成と子育て支援を図るために、医療保険が適用される医療費の個人負担額を助成するものです。

本町では、医療費助成を中学生（満15歳になった年の年度末）まで行っています。

▼助成申請の前の確認事項

■高額療養費や付加給付金に該当しないか

入院などで高額になる場合は、子ども医療費助成を申請する前に、高額療養費やお勤め先の付加給付金に該当しないかを確認してみましょう。

子ども医療費助成では、実際に医療機関に支払った金額から、高額療養費や付加給付金を差し引きます。

■2 学校災害共済給付金と重複していないか

学校での事故・病気については、日本スポーツ振興センターから災害共済給付金が支払われます。

■3 申請期限を過ぎていないか

診療を受けた月の翌月から起算して6か月以内の申請が有効です。

例えば4月診療分の場合は、10月までに申請してください。

■上手な受診で医療費節約

子ども医療費の助成額と件数は、グラフのとおり年々増加しています。

助成の財源は、皆さんの大事な税金で成り立っています。一人一人が健康管理に努め、健康な体づくりを進めましょう。

また、医療費の節約に関心を持ち、次の点に注意して上手に病院を受診しましょう。

▼受診の際の留意事項

■1 お医者さんの掛け持ち（重複受診・多受診）はやめましょう

医療機関が変わると、検査や処置をやり直さなくてはなりません。医療費が増えてしまいます。また、病気を長引かせてしまう可能性もあります。

何でも相談できる「かかりつけ医」を持ちましょう。

■2 できるだけ診療時間内に受診しましょう

診療時間終了後や休診日に受診すると、医療費が割高になってしまいます。

通常の診療時間内には、スタッフが揃っており、検査や投薬などの診療体制が整っているため安心です。

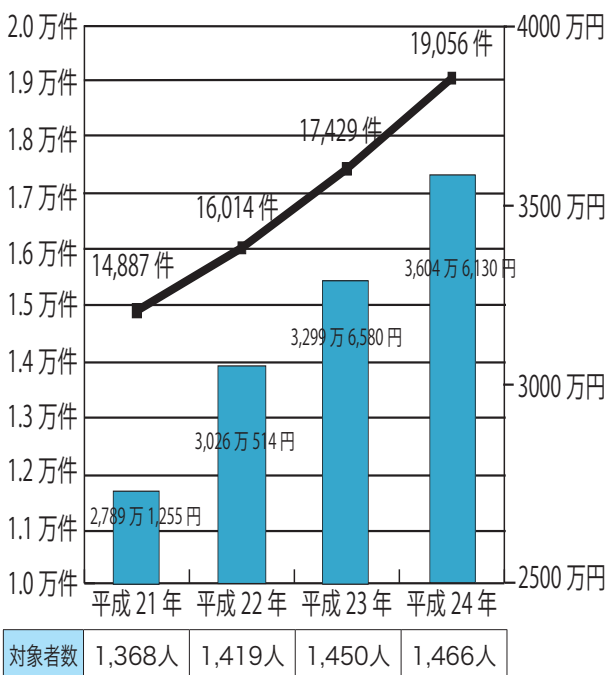
▼申請・お問い合わせ先

町民生活課

☎ 096・234・1113

(内線107)

✉ k1g204@town.kosa.lg.jp



体験豊かな「こうさっ子」の夏休み

町教育委員会による夏休みの体験活動プログラム

自然に親しむ野外体験

野外キャンプ「あつまれ子どもたち」

7月31日（水）～8月1日（木）川平キャンプ場で、野外キャンプ「あつまれ子どもたち」が開催されました。

1泊2日のキャンプを通して、緑川などの自然に親しむとともに、子どもたちが共同生活を行うことで団体行動の大切さを体験することなどを目的に、甲佐町青少年健全育成町民会議と町教育委員会が主催。町内の小・中学生20人が参加しました。

子どもたちは、各班に分かれて協力して行動。竹のはしや水鉄砲作り、野外炊飯やバーベキュー、川での水遊びや野外ゲームなどを体験。竹に生地を付けながら、炭火で焼き上げるバームクーヘン作りにも挑戦しました。



▲各班に分かれ、協力して竹のはし作りなどを体験



▲自然の中でのびのびと遊ぶ子どもたち

緑川の環境を学ぶ

こうさ環境子ども探検団



▲今年で18回目となる「こうさ環境子ども探検団」では、緑川流域の豊かな自然との触れ合いを通して、子どもたちの環境に対する問題意識や自然保護への関心を高め、郷土を流れる緑川の大切さを考えることを目的に実施

8月19日（月）緑川環境教育の一環として、体験学習「こうさ環境子ども探検団」が開催されました。

小学4年生から中学生までを対象として、熊本県自然観察研究会の小林修会長を講師に招き、4人が参加。今年は、中甲橋グリーンパークと津志田河川自然公園で、水質検査や水生生物の生息調査を実施しました。

水質検査では、水温を計ったり水の透明度を確認したりした後、水質検査薬を使って成分を調査。生息調査では、水中に潜む水生生物を採集し、一覧表と照らし合わせて名前や種類を確認。調査の結果、特に中甲橋付近の水質は良好でした。

調査終了後は、葉や石、枝などを使って描くアースアートなどに挑戦しました。

● お問い合わせ先

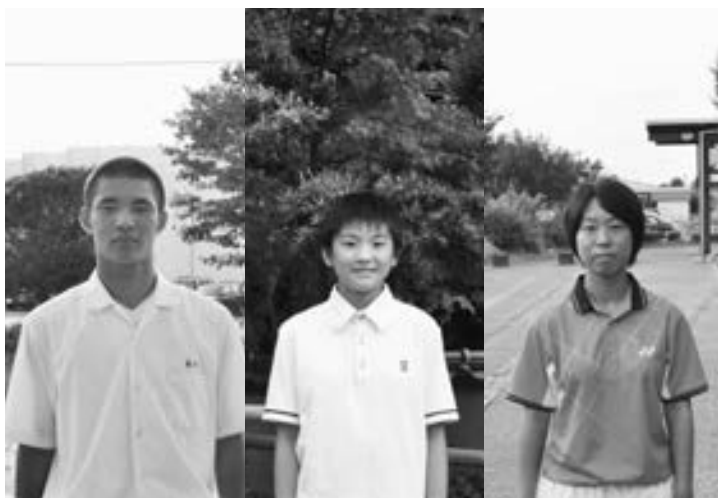
町教育委員会社会教育課

☎096-234-2447（内線322）

✉klg110@town.kosa.lg.jp



▼甲子園出場の皆本選手、総体出場の霍本選手、インターハイ出場の溪村選手



全国大会に出場し活躍

本町出身の3選手が健闘

今夏に開催された全国大会に、本町出身の3選手が出場しました。

7月28日(日)に大分県を主会場に開幕した平成25年度全国高等学校総合体育大会には、溪村夕衣選手(下豊内区・熊本工高3年)がソフトテニス競技の団体戦に出場。同高初となる5位入賞に貢献しました。

8月3日(土)沖縄県で開催した九州中学校体育大会には、霍本萌選手(上豊内区・九州学院中1年)が空手競技の団体戦に出場。「来年も試合に出場できるようにがんばりたい」と話しました。

8月8日(木)兵庫県で開催した第95回全国高等学校野球選手権大会において、2回戦進出を果たした熊本工業高等学校からは、皆本凌太選手(下豊内区・同高3年)がベンチ入りメンバーとして出場し、3塁ランナーコーチや伝令役として活躍。「最後に甲子園に行けて、悔いはありません」と話しました。

郡内で団結して消防活動

平成25年度上益城郡消防大会

7月27日(土)白旗グラウンドで、平成25年度上益城郡消防大会が開催されました。

同大会は、熊本県消防協会上益城郡支部主催で、郡内各町の消防団の相互の親睦、団結の強化および士気高揚を図り、消防活動の充実に寄与することを目的として開催。郡内各消防団から249人が参加し、通常点検が行われました。

町消防団(上野浩信団長504人)からは、上野団長をはじめとして、部長以上50人が出場しました。



▲平成25年度上益城郡消防大会で通常点検を行う町消防団



◀町生涯学習センターで開催された集落営農の講演会

農業を元気にするために

集落営農についての講演会を開催

7月27日(土)町生涯学習センターで、集落営農についての講演会が開催されました。

本町が抱える農業の課題解決と活力ある地域づくりを目的に町が主催し、約160人が参加。集落営農とは、集落などを単位として組織化し、共同で農機具を所有したり、農作業を行ったりする農業の仕組みです。

同講演会は、農山村地域経済研究所所長の楠本雅弘さんを講師に迎え、「甲佐町の元気な農業と活力ある将来の実現に向けて」と題して開催。楠本さんは「集落営農法人を組織すると、遊休農地を長期間管理・活用できるなど、さまざまなメリットがあります」と話しました。

緑川を大切にしている体験学習

緑川の自然とカジカカエルを護る会

8月24日（土）宮内地区で、緑川の自然とカジカカエルを護る会（西坂和洋会長）主催の体験学習が開催されました。

次代を担う子どもたちの緑川を大切にしている気持ちを育てることを目的に開催。同会と宮内地区子ども会の15人が参加しました。

参加者は、坂谷川と緑川の合流地点などの水環境を、水の色やにおいなどを基に調査。調査終了後は、いかに遊びにも挑戦しました。

参加した子どもたちは、「これからは川をきれいにしていきたい」と感想を述べました。



▲水の色やにおいなどを基に緑川の水質を調査する参加者



▲コミュニティ事業で整備した備品を夏祭りで使用

テントなどの備品を整備

上早川区自治会がコミュニティ事業で導入

上早川一〜五区で組織する上早川区自治会（大森隆盛会長665人）が、「コミュニティ助成事業」を活用し、テントなどの備品を整備しました。

同助成事業は、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図ることを目的として実施。同会では、レクリエーションなどの地域の催しに利用するため、同備品を導入し、8月11日（日）龍野ふれあい広場で開催された龍野地区の夏祭りでお披露目となりました。

整備の経費は、財団法人自治総合センターが実施している宝くじの社会貢献広報事業である「一般コミュニティ助成事業」で賄われました。

球技を通して親睦を深める

第16回子ども会対抗球技大会



▲子どもたちの健全育成と子ども会の親睦を目的に、新種目のアジャタなど4種目の球技で熱戦を展開した第16回子ども会対抗球技大会

8月8日（木）甲佐小学校体育館で、第16回子ども会対抗球技大会が開催されました。

子どもたちの健全育成と子ども会の親睦を目的に、甲佐町青少年健全育成町民会議（奥名克美会長）と町教育委員会が主催。新種目のアジャタなど4種目に46チーム192人が参加して熱戦を展開。真夏の暑さに負けない元気な子どもたちの活躍に、会場からは大きな声援と歓声が響きました。

【大会結果】

- ビーチボールバレー（8チーム・42人参加）
1位・吉田子ども会A、2位・ドラゴンA（龍野小）、3位・ドラゴンC（龍野小）
- アジャタ（6チーム・24人参加）
1位・白旗A、2位・岩下一区子ども会、3位・下豊内A
- ストラックアウト（14チーム・71人参加）
1位・マンチェスタぱみゅぱみゅ（西寒野）、2位・たつのE、3位・東寒野子ども会A
- 室内ペタンク（18チーム・55人参加）1位・下豊内C、2位・上豊内B、3位・上田口①

「こうさ環境フェア2013」を開催します



環境についてのブースを多数設置（イメージ）

■テーマは「快適なくらしと健全な水環境」

町では、「快適なくらしと健全な水環境」をテーマに、「こうさ環境フェア2013」を開催します。私たちが水を大切に使うとともに、水質を含めた水環境を守っていくために、健全な水の循環を保つていくことがいかに必要かを講演などを交えて皆さんにお伝えします。

●開催日時

9月21日（土）午前9時～正午

●開催場所

町生涯学習センター・ホールおよびギャラリーモール
※入場は無料です。

●講演会

県環境センターから環境教育指導者を招き、水環境についての講演を予定しています。

●緑川環境教育啓発作日展覧式

緑川への思いや願いを作品にすることで、子どもたちに自然環境を守る大切さを実感してもらうことを目的に、町教育委員会が主催するコンクールです。

次の3部門の応募者から、入賞者を表彰します。

- ・みどり川の絵コンクール
- ・緑川環境美化標語
- ・環境にやさしい知恵袋大賞

●出展ブースコーナー

- ・浄化槽の仕組みについて学ぼう
 - ・太陽光エネルギーを活用しよう
 - ・甲佐町の水道について知ろう
- その他、環境について学べるブースが多数あります。
また、スタンプラリーで景品も進呈します。

▼お問い合わせ先

町環境衛生課
TEL 096・234・1169
(内線252)

町環境衛生課 TEL 096-234-1169(内線 252) ✉ klg210@town.kosa.lg.jp

8月3日（土）南阿蘇村で、

甲佐町産業後継者育成対策協議会（本田新会長）主催による今年度の第2回「ふれあい交流会」を開催し、30～49歳の独身男女18人が参加しました。

交流会場に向かう車内では、

自己紹介カードを交換しながら交流。その後、ペアの相手を交代しながらカフェでのランチやゲームを楽しんだり、神社を参拝したり、白川水源を散策したりするなど交流を満喫し、3組のカップルが誕生。交流会終了後も参加者の間で交流が続いており、さらなるカップル誕生の期待が膨らみます。

今回は男性2人が初参加でしたが、他の参加者の和やかな雰囲気の中、自然に笑顔で交流できま

「ふれあい交流会」で3組のカップルが誕生



南阿蘇村で開催された交流会の様子

した。

●現在の登録者数

男性31人・女性138人

●登録対象者

20～49歳の独身男女

※男性は町内在住者に限りま

■甲佐版交流会のご案内

甲佐版交流会「若もん会」は、身近にいるのに出会う機会が少ない独身男女を応援する新企画です！

参加者同士で相談し、その後の交流を自分たちで開催する「自立型」の交流会です。あなたも参加してみませんか？

▼開催日

9月14日（土）

▼集合場所・時間

町役場駐車場・午前11時

▼交流会場

やな場など

▼お申し込み・お問い合わせ先

甲佐町産業後継者育成対策協議会事務局（町産業振興課内）
「ふれあい交流会」専用ダイヤル
TEL 080・1705・5339
（事務局・藤本）
「ふれあい交流会」専用メール
✉ kosa_hu-kouryukai@docomo.ne.jp

町産業振興課 TEL 096-234-1176(内線 153) ✉ klg206@town.kosa.lg.jp

後期高齢者医療保険

65～75歳の障がい認定された人へのお知らせ



変更を希望する人は町住民生活課までご相談ください

■後期高齢者医療保険への変更

65歳以上75歳未満で、一定の障がい状態にある人は、申請により後期高齢者医療保険の被保険者になることができます。変更を希望する人は、保険料が安くなる場合など、さまざまなケースがありますので、個別にご相談ください。

●後期高齢者医療保険の被保険者に変更できる人

- ・身体障害者手帳1級・2級・3級に該当する人
- ・身体障害者手帳4級の音声または言語機能の障害に該当する人
- ・身体障害者手帳4級のうち下肢障害の1号、3号または4号に該当する人
- ・精神障害者保健福祉手帳1級・2級に該当する人

▶高額療養費の自己負担限度額

区分	外来の場合(個人ごと)	入院の場合(被保険者間世帯単位の限度額)
現役並み所得者	44,000円	80,100円+(医療費-267,000円)×1割
一般	12,000円	44,400円
区分Ⅱ	8,000円	24,600円
区分Ⅰ	8,000円	15,000円

※今年まで社会保険などの被扶養者だった人についても、後期高齢者医療保険では保険料の負担があります。

▼保険料

- ・療育手帳A1・A2に該当する人
- 変更した場合
- ▼資格取得日
- 町住民生活課に申請し、県後期高齢者医療広域連合が認定した日から資格を取得します。
- ※被保険者証の交付には、時間が掛かります。
- ▼医療機関窓口での自己負担額
- 被保険者証の提示により、1割または3割の自己負担になります。

町住民生活課 ☎096-234-1113 (内線 105・107) ✉klg204@town.kosa.lg.jp

男女共同参画

■男女共同参画を考えよう!

今年度も、昨年度と同様に郡内5町による男女共同参画についての共同啓発イベントが開催されることになりました。

この啓発イベントは、上益城地域における男女共同参画社会について多くの人に周知するとともに、事業に対して積極的な参加を促すことを目的としています。

●イベント名

男女共同参画を考えよう! 益城町四賢婦人に学ぼう、男女が共に参加する地域づくり

●主催

上益城地域男女共同参画連絡会

●日時

11月9日(土) 午前9時30分

男女共同参画啓発イベントを開催します



昨年開催された啓発イベントの様子

●会場

益城町文化会館
※入場料は無料です。

■「カジダン」・「イクジイ」の写真を募集

家事や育児などを積極的に行う「家事男(カジダン)」・「育爺(イクジイ)」の写真を募集します。日ごろのお父さんやおじいちゃんの家事や育児への奮闘ぶりを、写真に収めて応募してみませんか。応募作品は、イベント会場に展示されます。

※加工された写真は対象となりません。

●応募期限

10月18日(金)

●応募方法

応募作品(2L判の現物写真またはデータ)を町総務課まで郵送または持参してください。

●応募先

町総務課

〒861-4696

甲佐町大字豊内719番地4

▼お問い合わせ先

甲佐町男女共同参画社会推進懇話会(事務局・町総務課)

☎096-234-1140

(内線241)

町総務課 ☎096-234-1140(内線 241) ✉klg202@town.kosa.lg.jp

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
TEL 096-234-2447(内線331)
✉ klg110@town.kosa.lg.jp

名曲をモチーフにした感動の物語 さだ まさし著 / 『風に立つライオン』



幻冬舎
小説

アフリカの戦地で、日本人医師・航一郎に救われたケニアの少年兵ドゥング。心をなくした彼を浩一郎は包み込み、生きる希望を与える。2011年3月、医師となったドゥングは被災地石巻を訪れた…。人から人へ「心」のバトンが繋がっていく。その尊さと愛おしさに涙が止まらない感動の長編小説。多くの方に読んでいただきたい1冊。

うまみがいみ込むお手軽調理 今泉 久美著 / 『下味冷凍の万能レシピ』



日東書院本社
娯楽教養

下味をつけた素材を冷凍する「下味冷凍」。こうすることで、味が中まで浸透するので、おいしい料理に仕上がります。鶏ごぼうご飯、塩豚と大根の煮物など、下味冷凍しておけば、材料を洗ったり切ったりする手間もなくサッと作れて、しかも材料を無駄にせず使い切ることができる、いいことだらけの調理法です。一度お試しください。

金八先生が教える「人生の降り方」 武田 鉄矢著 / 『西の窓辺へお行きなさい』



小学館
一般書

東日本大震災や自身の心臓手術をきっかけに考えるようになった「人生の降り方」。これまでに出会った著名人や、さまざまな出来事から学んだ、ピークを過ぎた後の折り返しの人生の過ごし方を提示。50代以上の男女に贈る、人生の豊かな過ごし方のアドバイスがたっぷりです。また、「金八先生」のエピソードや秘話も紹介されています。

実話を基に、動物と人間の絆を描く 室井 滋文・長谷川 義史絵 / 『ウリオ』



世界文化社
児童書

ある日、ある一軒の家に、イノシシの子どもウリオがやってきた。名前はウリオ。最初は家の中で飼われていたが、どんどん大きくなって、ついに庭で飼われることになってしまう。ウリオは悲しみの木、山に戻ることにする。ところが…。動物と人間の絆を描く、実話を基にしたハードウォーミングなお話です。読み聞かせにもおすすめです。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人3冊まで、8日間

ぼくのおすすめの本は、『天空の城ラピュタ』です。

ぼくのお気に入りところは三つあります。

一つ目は、パズーがフラップターにのって、つかまってしまったシータをつれもどしにいくところです。

そのページはパズーがシータを空中キャッチするところがすごいです。

今月の案内人



川口 大地くん
(緑町区)

二つ目は、ラピュタに行くところです。

そのページでは、うずまく雲の中に、パズーたちはまき

～ My Favorite Story ～

Read This Story!

私のおすすめ図書

『天空の城ラピュタ』(宮崎 駿著)

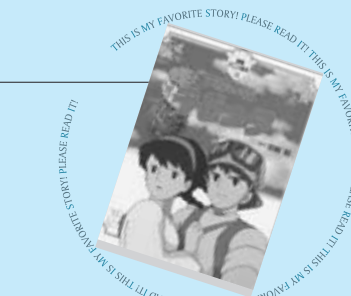
空中の浮き島ラピュタ帝国の血を引く少女シータと飛行石の運命は…。心躍るアドベンチャー・ロマンの傑作。名作アニメの感動を豪華絵本で再現。

こまれてしまいます。

その中心に竜の巣があります。その二人が竜の巣をぬけるときです。

三つ目は、ムスカがシータのおさげがみをけんじゅうでふきとばしたあと、パズーがきて、シータといっしょにほろびのことばをそろえていったところです。

そのあとどうなったか、みなさんもぜひよんでみてください。



● あなたの「おすすめ図書」をご紹介してみませんか？
町生涯学習センター図書室
TEL 096-234-2447(内線331)
✉ klg110@town.kosa.lg.jp

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

トピック 第3回龍野の夏祭り

8月11日(日)龍野ふれあい広場で、龍野地区の夏祭りが開催され、夏の夜に多くの参加者と出し物で賑わいました。

上早川納涼大会が竜野地区の祭りに変わってから3



▲各区からの出し物としてフラダンスを披露する参加者

回目となる同祭りは、地区の人々の心の触れ合いと地域づくりの一環として開催。龍神太鼓の演奏で幕開けし、

▶町民大学のご案内

グラウンドゴルフ大会

体かづくりのためのグラウンド・ゴルフ大会を開催します。

●開催日時 9月26日(木)

受付 午前8時30分

開始 午前8時45分

※雨天の場合は中止となります。

●場所

安津橋健康広場グラウンド・ゴルフ場「グリーンパル甲佐」

●参加費

プレー代 300円

スティック・ボール代 100円

※道具をお持ちの人は、ご持参ください。

※飲み物は、各自ご用意ください。

※9月20日(金)まで受付

●お申し込み先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447(内線321)



●公民館講座や町民大学などに関する

お申し込み・お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447(内線321)

✉klg110@town.kosa.lg.jp



各区からの出し物はフラダンス、空手の演舞、カラオケ、日本舞踊、消防団の演技など盛りだくさん。会場には、家族連れや盆の帰省客などが訪れ、かき氷、ビール、焼き鳥などを堪能しながら、多いに盛り上がりました。

また、消防団による多くの露店が立ち並び、夏祭りの夜の雰囲気醸し出していました。

西寒野老人会 桜の丘入所者と交流

8月13日(火)35度の猛暑の中、西寒野老人会の41人が桜の丘ケアハウスを訪れ、入所者との交流を行いました。

参加者は始めに、認知症予防のための頭の体操を、

同施設の指導員から楽しく学習しました。

続いて、町公民館出前講座の落語を鑑賞。熊本市出



▲古典落語『まぬけ家与太郎』を披露する上田さん

身のアマチュア落語家・上田博司さんが披露した古典落語『まぬけ家与太郎』は、話芸豊かな表現で笑いが絶えず、参加者は久しぶりに見る落語の公演に聴き入っていました。

公演後は、昼食と同施設の見学などで、参加者全員暑さ知らずの1日でした。

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

町民センターで開催 平和のつどいコンサート

8月4日(日)町民センターで、平和のつどいコンサートが開催され、講師に人権バンド「ゆう」の飯開輝久雄さんを招き、「心の鍵」、「願生(がんば)っていこう」など、自分の体験や家族のお話などを交えながら、全8曲が披露されました。

飯開さんは現在、合志市教育委員会学校教育課主幹。1996年、菊池郡で熊本県同和教育研究大会が開かれた時に、地元から差別をなくす取り組みを発信しようと人権バンド「ゆう」を結成しました。「ゆう」と

は、優しさの「優」、存在を表す「有」、勇気の「勇」、結び合いの「結う」を表し、人権を大切にするこの素晴らしさを訴えています。

「心の鍵」という歌の中に「たった一言で人の心を傷つけてしまうことがある。ほんの少しのささやきで生きていく力にもなる。(中略)時には冷たい言葉に泣いて戸惑い苦しんでしまう、だけどすこしずつ一歩ずつ歩いていく」という歌詞がありました。言葉は、使い方によって「言刃」になることがあると、飯開さんは語りました。

平和のつどいコンサートに参加し、

改めて言葉の大切さ、人を思いやる大切さ、人権について考えさせられました。

～参加者アンケートから～

・改めて人を思いやることの大切さ、命の大切さを考えさせられました。この思いを日々の子育ての中で自然に子どもに伝えていけたらと思いました。(40代)

・「生まれた人間として」の歌がとても心にひびきました。自分も同じような知的障害の弟がいて、詩にあるような経験をしました。今日のコンサートとてもよかったです。(30代)

介護予防サテライトを利用して 自分の体は自分で守りましょう

◆増加する介護保険サービス利用者

本町の介護保険サービスを利用している人は、高齢化の進行などに伴い年々増加しています。

介護保険サービスを利用して
いる人は、要介護状態と要支援状態に大きく分かれます。要介護状態とは、日常生活において何らかの介護を必要とする状態で、その人の状態に応じて要介護1〜5の5つの段階があります。要支援状態とは、要介護状態に比べると自分1人でできることは多いものの、支援や見守りなどが必要な状態で、要支援1・2の2段階からなっています。

国の調査結果によると、介護・支援が必要となった主な原因は、認知症や高齢による衰弱、関節疾患、骨折・転倒が約5割、脳血管疾患や心疾患、糖尿病などをはじめとした生活習慣病が約3割を占めています。

要介護状態や要支援状態にならないためには、「介護予防対策」と「生活習慣病対策」が必要です。今回は、本町の「介護予防対策」である介護予防サテライト事業についてご紹介します。

◆レクリエーションや体操などで介護予防

サテライトとは、おおむね65歳以上で、介護保険によるサービス

を受けていない人を対象に、生きがいや健康づくりのために実施している介護予防対策です。週に1回、各地域のふれあいセンターや町老人憩いの家で、レクリエーションや体操、保健師による健康教育などを行っています。

◆介護予防のためのサテライト体力測定

サテライトで年に1度実施している体力測定は、サテライトを利用していた、だいたい元気な高齢者に、ご自身の体力を知ってもらおうという大切な意味があります。これまで各地区でバラバラだった体力測定の方法や結果の評価方法などを今年度から統一しました。男女52人（平均年齢85・92歳）に、次の5種類の体力測定を行っていたいただきました。

- 1 片足立ち
- 2 椅子から立ち上がり3分先ま

で歩き、引き返して再び椅子に座るまでの最大時間
 3 5分の通常歩行時間
 4 5分の最大歩行時間
 5 握力

その結果、58・3割の人が、昨年と比べてほぼ全ての体力測定において維持・改善できていました。一方、41・7割の人が昨年と比べて体力低下しているという結果が出ました。

◆来年に向けて、体力の維持・改善の取り組みを

測定結果は、高齢者の皆さんにも分かりやすい大きな図を使つて、昨年と今年の変化が一目で分かる結果表をお渡しします。自分の現在の体力を知つて、来年に向けて体力の維持・改善に取り組んでいきましょう。

自分の体は自分で守るという意識をいつまでも持っていた、良かったと思います。私たち保健師もお手伝いします。サテライトについて興味をお持ちの人は、ぜひご連絡ください。

話のあゆみだより

サテライト

このコーナーでは、毎月、町総合保健福祉センター職員である保健師、社会福祉士などが、健康や福祉、介護、健康診断などに関する情報をリレー形式でご紹介します。



今月の「あゆみだより」は
清田 真理 保健師

おおむね65歳以上の介護保険サービスを受けていない人のための介護予防サテライト。年に1度の体力測定は、ご自身の体力を知り、体力の維持・改善を図るための大切なものです。興味をお持ちの人は「鮎緑」までご連絡ください。

▼サテライトについてのお問い合わせ先

町地域包括支援センター（町総合保健福祉センター内）

☎ 096-235-8711

✉ k1g113@town.kosa.lg.jp

Smile

わが家の“笑顔”をご紹介します



竹田 有我 くん (1歳)

父・裕昭 さん 母・忍 さん
(緑町区)

時計とアンパンマンが
大好きです



久保 恵嗣 くん (1歳)

父・祐司 さん 母・圭加 さん
(安平区)

沢山たべて、元気な優しい
男の子になってね！！

★お子さんの成長の記念として、“笑顔”の写真を『広報こうさ』紙面に飾ってみませんか？写真掲載のお申し込みは、町総合保健福祉センターまで。

●お子さんの“笑顔”の写真掲載に関するお申し込み・お問い合わせ先
町総合保健福祉センター
☎096-235-8711
✉klg113@town.kosa.lg.jp

Child-Care

9月の子育て支援カレンダー

○ 甲佐保育園 ☎096-234-0186

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 若草保育園 ☎096-234-0013

6日(金) ホース落とし作り
20日(金) ピカソのような絵を描こう

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 竜野保育園 ☎096-234-0519

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 乙女保育園 ☎096-234-3947

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 緑川保育所 ☎096-234-0789

園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)

○ 地域子育て支援センター (竜野保育園内) ☎096-234-0305

2日(月)	新聞紙で遊ぼう
4日(水)	戸外遊び
6日(金)	ぬり絵遊び
9日(月)	散歩(保育園周辺)
11日(水)	壁面製作(きのこ)
13日(金)	おやつ作り(お月見団子)
18日(水)	誕生会(要予約)
20日(金)	砂場遊び
25日(水)	ままごと遊び
27日(金)	戸外でボール遊び
30日(月)	ブロック遊び
10月2日(水)	散歩(コイを見に行こう)
4日(金)	親子ふれあい遊び

育児相談(月～金曜日)

体験保育(午前9時30分～正午)

9・10月の保健活動

●会場 町総合保健福祉センター

+ 4か月児健診

9月19日(木) 午前9時

10月17日(木) 午前9時

+ 7か月児健診

9月19日(木) 午前10時

10月17日(木) 午前10時

+ 10か月児教室

10月4日(金) 午前9時30分

+ 1歳6か月児健診

9月3日(火) 午後1時

+ 3歳児健診

9月3日(火) 午後1時20分

+ BCG予防接種

9月12日(木) 午後1時30分

+ 3種混合予防接種

9月20日(金) 午後1時30分

10月18日(金) 午後1時30分

●健康や福祉、介護、健康診断などに関するご相談・お問い合わせ先

・町総合保健福祉センター
・町地域包括支援センター
(町総合保健福祉センター内)

☎096-235-8711

✉klg113@town.kosa.lg.jp

●行事などに関する詳しい内容は、各園に直接お問い合わせください。



お知らせ

0157などの感染症を
予防しましょう

7月に入り、県内で21件の腸管出血性大腸菌（O157など）感染症が発生しました。腸管出血性大腸菌感染症は、菌に汚染された食品、食器、手指などを介して口から感染し、腹痛や下痢、血便などの症状が現れ、まれに重症化することがあります。

夏場は、腸管出血性大腸菌感染症の発生が多くなります。感染を予防するため、次のことに注意しましょう。

▼予防するための注意点

- 調理や食事前には、必ず手を洗う。
- 食品を十分加熱する（75度で1分以上）。
- 調理器具などを洗浄する。

※食品を十分加熱しても、加

お問い合わせ先一覧

- 町役場
☎096-234-1111（代表）
- 町教育委員会
（町生涯学習センター）
☎096-234-2447（代表）
- 町総合保健福祉センター
☎096-235-8711
- 町水道管理センター
☎096-234-0755
- 町民センター
☎096-234-2459
- 町学校給食センター
☎096-234-0255
- 町老人憩いの家
（社）甲佐町社会福祉協議会
☎096-234-0423
- 御船町甲佐町衛生施設組合
（クリーンセンター）
☎096-282-0688
- 上益城消防署
☎096-282-1955
- 御船警察署
☎096-282-1110
- 上益城広域連合
☎096-237-2891
- 県上益城地域振興局
☎096-282-2111
- 県御船保健所
☎096-282-0016
- 県庁
☎096-383-1111

熱前の食品に使用したまな板、はし、皿などをそのまま使用すると、加熱した食品が汚染され、感染を引き起こすことがあります。生ものを扱う食器と調理済みの食品を扱う食器は、共用しないことが大切です。

井戸水などの生水を飲む場合は、必ず煮沸する。

下痢、血便、腹痛、嘔吐（おうと）、発熱などの症状がある場合は、早めに受診する。

お問い合わせ先

- 県健康危機管理課
☎096-3333-2240
 - 町総合保健福祉センター
☎096-235-8711
- ✉k1g113@town.kosa.lg.jp

10月1日現在で住宅・土地
統計調査を実施します

10月1日現在で、住宅・土地統計調査を実施します。この調査は、住生活に関する

最も基本的で重要な調査で、全国約350万世帯の方々を対象とした大規模な調査です。

調査の結果は、国や地方公共団体における耐震や防災を中心とした都市計画の策定、空き家対策条例の制定などに幅広く利用されています。

統計調査員が調査世帯へ調査票の記入をお願いに伺った際には、調査票へのご記入、またはインターネットでのご回答をお願いします。

調査により集められた調査票の記入内容は、「統計法」によって厳重に保護されます。調査員をはじめとする調査関係者が調査で知り得た内容を他に漏らしたり、統計を作成・分析する目的以外に調査票を使用することは絶対にありません。これらの行為は、「統計法」により固く禁じられていきますので、安心してありのままをご記入ください。

お問い合わせ先

- ▼県企画財政課
☎096-234-1154
（内線233）
✉k1g104@town.kosa.lg.jp

「くまもと県民節電所」
ウェブサイトを開設

県では、県民総ぐるみでの節電の取り組みを促進するために、ウェブサイトを「くまもと県民節電所」を開設しました。

同サイトでは、多くの家庭や事業者の皆さんの取り組みを登録していただき、県内の総節電量を「見える化」することで、一人一人の節電の取り組みを集めれば、大きな節電量になる（大きな発電所建設に匹敵する）ことをひと目で分かるようにすることで、皆さんの節電の取り組みを応援していきます。

また、サイトに登録した人を対象に、節電の優秀な取り

doctor

日曜当番医

月日	当番医	電話番号
9月1日	荒瀬病院	☎096-234-1161
9月8日	谷田病院	☎096-234-1248
9月15日	甲佐眼科	☎096-235-5600
9月22日	荒瀬病院	☎096-234-1161
9月29日	谷田病院	☎096-234-1248

tax

町税などの滞納処分（7月分）

種別	件数・金額など
家宅捜索	0件
動産差し押さえ	0点
債権差し押さえ	0円
交付要求	2件
公売代金	0円

古きを訪ねて甲佐町を知る

甲佐町の文化財探訪 ～第4回～

「早川城跡」

昭和55年2月に町文化財に指定された早川城跡は、早川区にある西福寺の南、山の尾根が続く突端部に位置し、地域では「城山」とも呼ばれます。

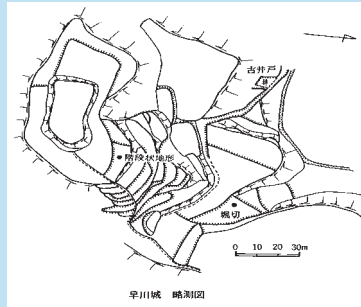
▶町文化財の早川城跡



江戸時代の古文書「拾集昔語」によると、水田地帯にぽつんとある、辺りを見渡せる位置に造られた城跡は、建長5(1253)年、渡邊近江守藤原秀村が築いたとされています。

水田から35m程の高さに築かれた城跡には、東側からの攻撃を防ぐための堀切りが残されているほか、麓には古井戸が残されています。

その後、城主の渡邊氏は早川氏を名乗り、代々阿蘇家の家臣として仕えました。



▶早川城跡の略測図



▲甲佐大橋の白旗側のたもと付近にあります

■お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447 (内線 322) ✉klg110@town.kosa.lg.jp

組みをしたご家庭や団体の皆さんを表彰する省エネコンテンツの開催や、さまざまな省エネに関する情報提供を行っています。ぜひ、皆さんのご登録をお願いします。

▼ウェブサイト「くまもと県民節電所」
URL <http://kumamoto-setsuden.jp/portal/>

▼お問い合わせ先
県エネルギー政策課
☎096-3333-2320

使って実感！ネットで申告「e-Tax(イー・タックス)」
国税電子申告・納税システム「e-Tax(イー・タックス)」は、自宅やオフィス、税理士事務所などからイン

ターネットを利用して、国税の申告や納税、納税照明書の交付請求および法定調書の提出などの申請・届け出などができるシステムです。

利用開始の手続き、受付時間、パソコンの環境、ソフトの操作方法、よくある質問などはホームページに掲載している

ますので、ご利用の前にご確認ください。

また、8月1日(木)からe-Taxの受付終了時間が午後9時から午前0時に延長されました。

▼お問い合わせ先
熊本東税務署
☎096-369-5566
e-Tax(イー・タックス)ホームページ
URL <http://www.e-tax.nta.go.jp>

おれ

ふるさと甲佐応援寄附金

「ふるさと甲佐応援寄附金」にご協力いただき、誠にありがとうございました。

町では、心温まるご好意を町の振興のために大切に使用させていただきます。引き続き多くの皆様のご理解とご協力をお願いします。

▼平成25年度寄附金額合計
75,000円

▼お申し込み・お問い合わせ先
町企画財政課

☎096-234-1154 (内線236)

✉klg104@town.kosa.lg.jp

environmental preservation

クリーンセンターへのごみ搬入量 (7月分)

種別	搬入量	前月比較	前年比較
可燃ごみ	218,530	25,790	2,470
資源ごみ	29,840	9,770	7,050
粗大ごみ	4,620	930	970
合計	252,990	36,490	10,490

※単位・t

traffic safety

交通事故件数

種別	発生件数	前年比較
事故件数	23	(1)
死者	2	(1)
傷者	28	(△6)

8月15日現在 (カッコ内は前年比較)

fire prevention

出動火災件数

種別	発生件数	前年比較
家屋	0	(0)
原野	0	(△1)
その他	1	(0)
合計件数	1	(△1)

8月15日現在 (カッコ内は前年比較)

募集

人権メッセージ 「あなたのひここと」募集

県、熊本県人権啓発推進協議会、熊本県人権啓発活動ネットワーク協議会では、人権啓発に関することばやメッセージを募集しています。

▼募集内容

人権啓発に関することば、メッセージ（50字以内）
※一行詩、三行詩、俳句など、形式は問いません。

▼応募資格

県内に居住または通勤・通学する人

▼応募方法

はがきまたは応募用紙に郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢を明記の上、郵送、ファックス、電子メールにてご応募ください。

熊本県人権センターのホームページからも応募できます。

▼応募上の注意

・応募作品は、自作・未発表のものに限ります。
・複数作品の応募も可能です。
・応募作品については返却しません。

▼募集期限

9月30日（月）必着

▼応募先

熊本県人権センター人権メッセージ募集係
〒862-8570（住所記載不要）
☎096-3833-1206

✉ jinken@pref.kumamoto.lg.jp

熊本県人権センターホームページ
URL <http://www.pref.kumamoto.jp/site/kumamoto-inken-center/>

お問い合わせ先
県人権同和政策課
☎096-3333-2299

e 開催

認知症の人を支える家族のつどい

町では、認知症の人を支える家族のつどいを開催します。

認知症のさまざまな症状からくる行動に困惑したり、対応に悩んでいることはありませんか。同じ悩みを抱えている人は、ほかにいるかもしれません。1人で悩まずに、同じく介護をしている仲間と語り合いませんか。

▼開催日時

9月18日（水）午後1時30分～午後3時

▼会場

町総合保健福祉センター・視聴覚室

▼内容

・参加者同士の意見交換
・熊本県認知症コールセンター専門相談員による相談受付

▼対象者

・認知症の人を介護している人
・家族が認知症と診断された人
参加費 無料

▼お問い合わせ先

町地域包括支援センター（町総合保健福祉センター内）
☎096-235-8711
✉ klg113@town.kosa.lg.jp

第4回上・下益城郡合同公売会を開催します

税金は町にとって大切な財源であり、納税は国民の義務です。

現在、町は町税の滞納者に対し家宅搜索や預金調査を行い、財産の差し押さえを強力に実施しています。差し押さえた財産は公売して、滞納している税金に充てられます。

税金滞納者から差し押さえた財産を公売する第4回上・下益城郡合同公売会を、次のとおり実施します。

▼開催日時

10月6日（日）午前9時開

ビーチボールバレー&ソフトバレーボール大会結果

■第11回甲佐町夏季ビーチボールバレー大会

▶優勝したヒーローズ



- フリーの部（参加15チーム）
- ・優勝 ヒーローズ（白旗）
- ・準優勝 SUPER JIN
- ・3位 タローズ（田原）
- ・3位 シャンクス（宮内）

▶優勝したスウィーツフィッシュ



- 50歳以上の部（参加6チーム）
- ・優勝 スウィーツフィッシュ（上豊内）
- ・準優勝 横田A
- ・3位 上早川ファイヤーズ
- ・4位 船津たんぼぼ

●主催・甲佐町ビーチボールバレー協会（山下繁樹会長） ●期日・8月1日（木） ●会場・乙女小体育館

■第19回ソフトバレーボール大会

▶優勝したあゆの里



- ・優勝 あゆの里
- ・準優勝 白旗
- ・敢闘トーナメント優勝 スウィーツフィッシュ

●主催・甲佐町バレーボール協会（芦原博幸会長） ●期日・8月8日（木） ●会場・甲佐小体育館

甲佐町総合型地域スポーツクラブ
「I・YOU スポーツクラブ」
 9月のアユスポ・カレンダー



野々口 琉人くん
 (芝原区)
 少年柔道

柔道をやったことがない人は、
 ぜひ参加してみてください！

●スポンジテニス&バドミントン

甲佐小学校体育館・毎週月曜日

9月2日(月)	午後7時30分
9月16日(月)	午後7時30分
9月23日(月)	午後7時30分
9月30日(月)	午後7時30分

●少年柔道

甲佐中学校武道館「甲心館」・毎週火・木曜日

9月3日(火)	午後7時
9月5日(木)	午後7時
9月10日(火)	午後7時
9月12日(木)	午後7時
9月17日(火)	午後7時
9月19日(木)	午後7時
9月24日(火)	午後7時
9月26日(木)	午後7時

●ジュニアバレー

町トレーニングセンター・毎週火・木曜日

9月3日(火)	午後6時30分
9月5日(木)	午後6時30分
9月10日(火)	午後6時30分
9月12日(木)	午後6時30分
9月17日(火)	午後6時30分
9月19日(木)	午後6時30分
9月24日(火)	午後6時30分
9月26日(木)	午後6時30分

●卓球

町生涯学習センター・毎週火・水曜日

9月3日(火)	午後7時30分
9月4日(水)	午後7時30分
9月10日(火)	午後7時30分
9月11日(水)	午後7時30分
9月17日(火)	午後7時30分
9月18日(水)	午後7時30分
9月24日(火)	午後7時30分
9月25日(水)	午後7時30分

●サッカー教室

緑川グラウンド・甲佐小学校グラウンド・毎週木・土曜日

9月5日(木)	午後7時
9月7日(土)	午前9時
9月12日(木)	午後7時
9月14日(土)	午前9時
9月19日(木)	午後7時
9月21日(土)	午前9時
9月26日(木)	午後7時
9月28日(土)	午前9時

●バスケットボール教室

甲佐小学校体育館・毎週火曜日

9月3日(火)	午後7時30分
9月10日(火)	午後7時30分
9月17日(火)	午後7時30分
9月24日(火)	午後7時30分

■お問い合わせ先
 I・YOU(アユ)スポーツクラブ事務局
 (町教育委員会社会教育課内)
 ☎096-234-2447(内線325)
 ✉k1g110@town.kosa.lg.jp

子宮頸がんについての
公開講座を開催
 上益城郡医師会では、子宮頸がんについての公開講座を開催します。
 4月から小学6年生〜高校1年生の女子を対象に予防のためのワクチンの定期接種が始まり

子宮頸がんについての
公開講座を
 開催

☎096・234・1112
 (内線113・114)
 ✉k1g203@town.kosa.lg.jp

◎くらし安全

皆さんの悩みや不安は
警察にご相談ください
 9月11日(水)は警察相談の日です。副作用の報告もあります。正しい知識を知るためにぜひご参加ください。

○警察への主な相談窓口
 ・警察安全相談室
 ・プッシュ回線の場合
 ☎#9110
 ・ダイヤル回線の場合
 ☎096・383・9110
 ○御船警察署
 ☎096・282・1110
 ○犯罪被害者支援室
 ☎096・381・0110
 ○くまもと被害者支援センター
 ☎096・386・1033

○レディース110番(性犯罪相談電話)
 ☎0120・8343・81
 ○けん銃・覚せい剤相談電話
 ☎0120・10・3774
 ○振り込め詐欺相談電話ホットライン
 ☎096・381・2567
 ○肥後つ子テレホン(少年問題相談電話)
 ☎0120・02・4976
 ○悪質商法110番
 ☎096・385・1110
 ○暴力追放相談電話
 ☎096・384・0110
 ○熊本県暴力追放運動推進センター
 ☎096・382・0333
 ○道路交通情報案内(道路交通情報センター)
 ☎050・3369・6643
 ▼お問い合わせ先
 御船地区防犯協会連合会
 (御船警察署内)
 ☎096・282・1110

▼お問い合わせ先
 一般社団法人上益城郡医師会
 ☎096・282・0461
 ▼会場
 御船町カルチャーセンター
 ▼日時
 10月6日(日)午後1時30分
 ～午後3時
 ▼お問い合わせ先
 熊本大学大学院 片淵秀隆教授
 ▼講師
 熊本大学大学院 片淵秀隆教授

▼お問い合わせ先
 熊本大学大学院 片淵秀隆教授
 ▼日時
 10月6日(日)午後1時30分
 ～午後3時
 ▼お問い合わせ先
 熊本大学大学院 片淵秀隆教授

「産婦人科の現場から若い世代へのメッセージ」〜若い女性にのびよる子宮頸がんと男性の責任〜
 窓口での直接相談、電話での相談のどちらでも結構です。ただし、緊急の事件・事故の場合は、110番通報をお願いします。

日です。警察では、防犯や交通暴力団、家庭内の暴力や子どもの非行、ストーカーやDV、事件や事故、鉄砲の許可行政に関する事など、悩みや不安を感じている皆さんのご相談に応じます。

町生涯学習センター・ギャラリーモール展のお知らせ ~9月~

●日隈俊郎「日本画展」
 ▶期間 9月2日(月)~9月13日(金)
 ▶主催 甲佐町文化協会

●お問い合わせ先
 町教育委員会社会教育課
 ☎096-234-2447
 ✉k1g110@town.kosa.lg.jp



夏の緑川（宮内地区）

うたごよみ 長月

「短歌」

渡辺幸士 選

「はい、はい」と聞きつつ何の話かと思ひ出
せずに吾は戸惑う 赤星 文子

朝日射す狭庭に咲きし向日葵は香ることなく

夏を連れ来る 赤星 延子

昼は蟬夕べは騒ぐ虫の声夏の山里忙しく暮る
塚原 暁益

夜の闇に花火の爆せて麗しき希望の花が大輪
に咲く 松本ぬい子

マミコウロード四方山緑のあちこちに紅輝き
て合歓の花映ゆ 森田 房恵

夏祭り願い通りに雨も無く締めの花火も無事
に終わりぬ 上村やす美

地域より誕生祝い頂けり温もりのある手作り
ペン立て 内田乃武子

吾の名のいわれ語りし遠き日の亡父を思ほゆ
今も懐かし 上村 かず

朝風の音聴くごとく老い二人散歩しており犬
も付き行く 吉永由紀子

県外にわれ等の短歌を読む人の居られると知
り励まされたり 緒方 明美

子等に背を押され訪ねし摩周湖は神秘の水と
真白き霧と 内山タミエ
テールに置きしままなる補聴器がじつと聞
きおり私の愚痴を 渡辺 幸士

「川柳」

渡辺幸士 選

「汗」

ポランティア流した汗の爽やかさ 布田 愛子
グランドの汗に何時かは花が咲く 伊豆野ヤエ
負け試合頬を流れる涙汗 緒方 瑞枝
癌告知されて冷汗どつとかく 松本ぬい子
汗流し合つて少女のこころ解け 清川みどり

「やっぱり」

あの人の真実やっぱり今解る 北 仁子
嫌なもの矢つ張り地震・雷か 古閑チヨミ
やっぱりな酒の肴は妻の酌 早 彦喜
娘も孫も街に巣作りしてしまふ 渡辺 幸士

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
096・234・2447（内線321）

ひとの動き (敬称略)

7月11日(木)～8月10日(土)

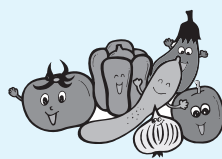
birth お誕生おめでとう

住所	氏名	性別	保護者
下横田	渡邊菜々実	女	久也
豊内	米原甘夏	女	雄二
田口	大塚二瑚	女	健太
下横田	宮崎瞭	男	淳
東寒野	山下琉惺	男	廣幸

condolence お悔やみ申し上げます

住所	氏名	年齢	世帯主
中横田	田上 繁雄	83	貴美恵
横田	山本 敏春	94	はるみ
西寒野	山下アサ子	85	アサ子
糸田	緒方 重光	88	重 則
田口	竹村マツ子	100	浩 二
船津	植田 弘幸	76	幸 代
豊内	豊田ツヤ子	85	育 敏
有安	西村 隆敏	91	一 子
横田	丸岡ハル子	87	廣 喜
豊内	甲斐 茂男	79	詠 二
上揚	立野シズコ	92	弘 子

こうさの野菜で作ってみよう!



レシピ提供：料理研究家 沼田峰子さん（北原区）

冷汁（ひやじる）

3存知ですか？

冷汁の歴史は古く、鎌倉時代から食べられていました。各地域で、地元の食材を使ったいろいろな食べ方があります。宮崎県の冷汁は、暑いときに食べる料理として有名ですが、山形県ではお正月料理として食べられています。



作り方

- ① アジの干物をしっかり焼いて、骨と皮を取り、身を細かくほぐします。
- ② キュウリは小口切りにして塩をふり、しんなりしたら水気を絞ります。
- ③ 味噌とゴマをよく混ぜて木べらにつけ、直火であぶって少し焦げ目を付けた後、だし汁でのばします
- ④ ③に粗くつぶした豆腐、①②を加え、最後にシソの細切り、小口切りにしたミョウガを散らしましょう。氷を2～3個浮かべたら出来上がりです。

※暑さで食欲がないとき、冷汁ならサラサラっと食べられますが、よくかむように注意してください。ご飯に1～2割の麦を入れた麦ご飯にすると、より健康的です。また、キュウリが体を冷やしてくれるので、過ごしやすくなりますよ。

材料－4人分－

アジの干物	2枚
豆腐	1丁
キュウリ	2本
塩	ひとつまみ
だし汁	カップ4
すりゴマ	大さじ4
味噌	60g
シソの葉	4～5枚
ミョウガ	1個

編集後記

生後3か月になる姪は、1日5回のミルク、たっぷり睡眠と家族の愛情ですくすく成長しています。

今は、抱っこしないと寝付かず、ひとときも目が離せない状態。隣で見ているだけでも、子育ての大変さがよく分かります。町総合保健福祉センターで行われた子育て体験「ハローBaby!」は、体が自由に動かせない妊婦さんの不自由さを味わったり、首が据わらない赤ちゃんの人形を恐る恐る抱っこしたり、10か月児とその親御さんと触れ合ったりして、子育ての楽しさや苦労を中学生に実感してもらおう取り組みです。

昨年に引き続き取材に行くこと、今年はお母さんに混じって「イクメン」がちらほら。「両親の愛情をたっぷり受けて、次代の「Jockey」が元気に育っていくといいですね。」(か)

data 甲佐町の人口・世帯数		
項目	数	増減
男	5,432	2
女	6,056	△15
計	11,488	△13
世帯数	4,271	△2

平成25年7月31日現在



トッド・ハーグリーブさん
Todd Hargrave

トッド・ハーグリーブ / 外国語指導助手。平成22年8月に本町に着任。英語と日本語を交え、子どもたちに分かりやすく英語を教えている。

〔仁田子区〕

英語を通じ、多くの経験で 自分の世界を広げてほしい

「細かく意味が分からなくても、大体の意味をつかんで英語の授業に取り組んでほしい」と話すのは、町内小・中学校のALETを務めるトッド・ハーグリーブさん。

ALETとは、外国語を母国語とする外国語指導助手のこと。アメリカのミシガン州出身で、日本に住むことに憧れた本町のALETとして来日したのは、平成22年8月。「アニメ、漫画などのポップカルチャーや、侍、忍者などの歴

史」に魅力を感じ、高校3年生のときに日本語の勉強を始めた。「日本語は難しいと聞いていたけど、負けず嫌いだっただけであえて挑戦したかった」と話すトッド先生は、大学4年生のときに京都に留学したことで、日本語の力が飛躍的に高まったという。「毎日、日本語のシャワーを浴びたことが良かった」という自身の経験から、「週1回、

長時間勉強するよりも、少しずつでも毎日勉強するほうがいい」と、日々の着実な積み重ねが語学力の向上につながることを子どもたちに伝えている。

初来日は福岡。「日本の都会は、建物が色鮮やかできれいなことと、人ごみでもぶつからずに歩く人たちが印象的親切な人が多かった」と話す本町については、「都会の人より優しくて、外国人への好奇心が旺盛だから、すぐ仲良くなれた。住んでいると心が温かくなる」と笑顔になる。小学校では、主にゲームなどで楽しく英語に触れさせ、中学校では、発音練習など英語教諭の授業をサポートするようにしているというトッド先生。ALETとして4年目になり、「積極的に授業に参加するようになった」と、子どもたちの変化を感じている。「英語が話せれば、全世界どこにでも行けるようになって、たくさん経験が待っています」と、子どもたちに英語を通じて自分の世界を広げてほしいと願っている。